

100歳おめでとうございます

河田八重さん満百歳



元気に百歳を迎え誕生日を祝ってもらう河田八重さん（写真中央）

手作りのお飾りでお正月

お飾り作り教室



家族で参加し、和気あいあいとお飾り作りに挑戦しました

より良い環境を目指して

アメニティ推進大会



身近な環境に対する取り組みや地球規模の環境問題など、活発な意見交換が行われました

自分たちで作ったお飾りでお正月を迎えようと、12月4日、東公民館で、お飾り作り教室が開催されました。教室に参加したのは約20人。講師から一通り指導を受けた後、さっそくお飾り作りに取り掛かりました。慣れない手つきで途中悪戦苦闘する場面もありましたが、お飾りは1時間ほどで完成しました。この日、家族で教室に参加した林邦夫さん（西阿曾）は「最初は簡単そうだったが、実際に作るのは大変だった。何とか形になって良かった」と、額にうっすらと汗を浮かべ話してくれました。

より良い環境のために何ができるのかを考えようと、12月1日、清音福祉センターで、アメニティ推進大会が開催されました。大会では、清音小学校の児童や清音地区で環境活動に取り組んでいる団体のメンバーらがそれぞれの活動を報告。お互いに意見交換などを行いました。高梁川の水質調査の結果を発表した山口真輝さん（清音小6年）は「緊張したけど思いどおり発表できた。一人ひとりの環境に対する意識を変えることが大切だと感じた」と、ほっとした表情で感想を話してくれました。



一生思い出に残る
成人記念式にしたい。

輝いている人

成人記念式の実行委員長を務める

谷口順美さん（久代）

合併後初の成人記念式。自分たちの手で思い出に残る式にしようと、地域の未来を担う新成人が集い、実行委員会が結成された。その実行委員長として、式の企画運営に携わるのが谷口順美さんだ。

自ら行動派という谷口さんは、実行委員長を進而引き受けた。「実行委員会はすばらしいメンバーに恵まれました。みんなが積極的に意見を出し合い活動してくれるので、とても心強いです」と仲間たちに感謝の気持ちを表す。

今年の式のテーマは「ピース！つながる愛と広がる輪」。「ピース」という言葉には、「平和」と「私たち1人ひとり」という意味がもたされた。「私たち1人ひとりが、人と人とのつながりを深めていこう。そして、平和な世の中にしていこう」という願いが込められています。それに、昨年3市村が合併

したので、その意味でも人と人とのつながりが大切だということになりました」とテーマに込められた意義を熱く語り、「一生に一度のことなので、思い出に残る式にしたいです。みんなの心が一つになって、参加してよかったと感じてもらえるように頑張っています」と歯切れのいい話しぶりに自信をのぞかせる。

谷口さんは県立大学保健福祉学部看護学科の2年生。将来の夢は、誰からも気軽に話しかけられるような看護師になること。会話の中から、何かの助けとなるようなことを見いだしていきたいという。「これからは、成人として社会の中で貢献したいです。そして、私の郷土総社市に愛着をもつて、積極的に市の活動などにも参加していきたいです」と、はつらつとした笑顔で新成人としての決意を語った。

このコーナーでは、輝いている人を募集しています。あなたの周りにキラッと輝いている人がいたら、ぜひとも広報そうじゃ編集室（企画課）までご一報ください。自薦・他薦は問いません。